



令和3年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和3年10月28日

上場会社名 株式会社sMedio 上場取引所 東  
 コード番号 3913 URL https://www.smedio.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 定則  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 北埜 弘剛 (TEL) 03-6262-8660 (代表)  
 四半期報告書提出予定日 令和3年11月1日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年12月期第3四半期の連結業績(令和3年1月1日~令和3年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年12月期第3四半期	560	△19.1	11	△82.1	15	△77.0	△6	—
2年12月期第3四半期	692	4.7	65	—	65	—	40	—

(注) 包括利益 3年12月期第3四半期 3百万円(△90.7%) 2年12月期第3四半期 39百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年12月期第3四半期	△3.21	—
2年12月期第3四半期	21.11	21.10

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
3年12月期第3四半期	1,248	1,122	90.0	580.15
2年12月期	1,261	1,111	88.1	575.92

(参考) 自己資本 3年12月期第3四半期 1,122百万円 2年12月期 1,111百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
3年12月期	—	0.00	—		
3年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和3年12月期の連結業績予想(令和3年1月1日~令和3年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	721	△21.0	0	△97.7	4	△86.6	△16	—	△8.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 連結業績予想の1株当たり当期純利益は、令和3年1月から9月までの期中平均株式数1,933,051株を用いて算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

3年12月期3Q	2,042,521株	2年12月期	2,040,121株
3年12月期3Q	106,892株	2年12月期	110,892株
3年12月期3Q	1,933,051株	2年12月期3Q	1,922,784株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、再び、緊急事態宣言が出される等、経済活動の制約が継続していることもあり、先行きが見通せない状態となっています。

このような状況であるからこそ、当社がミッションとしている、デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進がますます重要視されており、当社は、引き続き、DXを推進する事業を展開してまいります。

当社の事業は、技術の特徴で大きく分けると、デジタル家電組込みソフトウェア事業、映像AI解析・IoTソフトウェア事業、セキュリティ&プライバシー事業の3つに分けられます。

（デジタル家電組込みソフトウェア事業）・・・当社が主体

Blu-ray™再生ソフトウェアや高解像度(4K/8K)画像処理技術を基盤とした事業になります。当事業は、ロイヤリティ収入を主体としているため、Blu-ray™などを再生するデジタル家電機器（TV、Blu-ray™レコーダー、PCなど）の出荷台数に影響を受けます。

（映像AI解析・IoTソフトウェア事業）・・・当社が主体

映像解析・分析AIエンジンとIoT技術を組み合わせたエンドツーエンドのBtoB向けのソリューションを提供している事業になります。

当社は、建設現場における課題を解決するソリューション提供に特化して、事業を推進しております。

（セキュリティ&プライバシー事業）・・・タオソフトウェア㈱が主体

Android™のセキュリティ脆弱性診断やアプリ・サーバー構築に関する開発収入、データ移行・バックアップアプリ（JSバックアップ）に関するロイヤリティ収入（月額課金サービス収入を含む）を中心とした事業であります。

## ① 売上高の分析

（ロイヤリティ収入）

当社ソフトウェアが搭載されている顧客の製品種類は増えておりますが、世界的な半導体の供給不足が長引いており、顧客の製品出荷数の落ち込みおよび製品出荷開始時期の後ろ倒しとなった顧客製品があったこと等で、ロイヤリティ収入は前年同四半期（1～9月）比82百万円の減収となりました。

（受託開発収入）

当第3四半期連結累計期間の受託開発案件は、前年同四半期の案件に比べ、開発規模が小さくなった案件があったこと等で、前年同四半期（1～9月）比47百万円の減収となりました。

この結果、当社グループ全体としては、売上高は560百万円（前年同四半期比19.1%減）となりました。

形態別売上高は、下表のとおりであります。

（単位：百万円未満切捨て）

形態別売上高	前々第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
ロイヤリティ収入	441	474	392	△82	△17.5
受託開発収入	178	189	142	△47	△25.0
保守・サポート収入	41	28	26	△1	△7.1
合計	661	692	560	△132	△19.1

## ② 販売費及び一般管理費、営業損益の分析

当第3四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は307百万円（前年同四半期比8.3%減）、営業利益は11百万円（同82%減）となりました。

売上高は減少していますが、原価低減および販管費の節減の効果と原材料の評価減の戻入41百万円により、営業利益となりました。

## ③ 営業外損益、経常損益の分析

当第3四半期連結累計期間における営業外収益は、助成金収入が減少した半面、為替差益が増加したことなどで3百万円（前年同四半期比5.4%増）となりました。営業外費用は、為替差損がなくなったことで、3百万円減少し、0百万円（同100.0%減）となりました。結果、経常利益は15百万円（同77.0%減）となりました。

## ④ 親会社株主に帰属する四半期純損益の分析

当第3四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純損失は6百万円（前年同四半期は40百万円の純利益）となりました。

(単位：百万円未満切捨て)

	前々第3四半期 連結累計期間	前第3四半期連結累 計期間	当第3四半期連結累 計期間	増減
売上高	661	692	560	△132
営業利益又は営業損失(△)	△63	65	11	△54
経常利益又は経常損失(△)	△62	65	15	△50
親会社株主に帰属する四半期 純利益又は親会社株主に帰属 する四半期純損失(△)	△68	40	△6	△46

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産・負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

## ① 流動資産

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は1,193百万円であり、前連結会計年度末に比べ20百万円増加しました。現預金は、原材料の購入に充てたことで、203百万円減少する一方、原材料は、当該購入による増加に、原材料の評価減の戻入による増加が加わり、ライセンス費用の払出による減少を大きく上回ったことで、275百万円増加しました。

上記の要因により、現預金は減少し603百万円となりましたが、運転資金には支障が出ない水準を維持しております。

## ② 固定資産

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は54百万円であり、前連結会計年度末に比べ33百万円減少しました。これは、主として、償却によりのれんが15百万円減少したことによるものであります。

## ③ 流動負債

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は114百万円であり、前連結会計年度末に比べ26百万円減少しました。これは、主として、未払法人税等が15百万円減少したことによるものであります。

## ④ 固定負債

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は10百万円であり、前連結会計年度末に比べ1百万円増加しました。これは、主として、福岡オフィスを移転したことにより、資産除去債務が0百万円増加したことによるものであります。

## ⑤ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は1,122百万円であり、前連結会計年度末に比べ11百万円増加しました。これは、主として、親会社株主に帰属する四半期純損失6百万円を計上したものの、為替換算調整勘定の増加10百万円および株式報酬による自己株式の処分7百万円によるものであります。

## (3) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが優先的に対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は24百万円であります。

主な内容は、AI関連製品および4K高解像度関連製品の開発に関連するものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、令和3年2月5日に公表いたしました令和3年12月期通期の連結業績予想を下記の通り、修正しております。

(単位：百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想(A)	1,034	53	53	36
今回修正予想(B)	721	0	4	△16
増減額(B)-(A)	△312	△53	△49	△53
増減率(%)	△30.2	△98.6	△92.5	—

## (為替前提)

第4四半期連結会計期間(10-12月)における為替水準は、直近の為替水準を反映し、下表のように想定しております。

	米ドル	中国・人民元
第4四半期連結会計期間	110.00円(103.00円)	17.00円(16.00円)

※( )内は、修正前の想定為替水準。

詳細につきましては、本日(令和3年10月28日)公表いたしました「原材料の評価減の戻入及び繰延税金資産の一部取崩並びに令和3年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和3年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	806,624	603,349
売掛金	73,728	21,118
仕掛品	18,224	16,602
原材料及び貯蔵品	257,753	533,656
その他	16,593	18,700
貸倒引当金	△146	△146
流動資産合計	1,172,778	1,193,281
固定資産		
有形固定資産	18,716	15,777
無形固定資産		
ソフトウェア	9,719	6,692
のれん	17,048	1,870
その他	2,108	1,841
無形固定資産合計	28,876	10,403
投資その他の資産		
繰延税金資産	16,341	4,021
敷金及び保証金	16,499	16,565
その他	8,022	8,022
投資その他の資産合計	40,863	28,609
固定資産合計	88,456	54,791
資産合計	1,261,234	1,248,072

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和3年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	10,245	9,512
未払法人税等	15,386	370
前受収益	14,527	19,895
賞与引当金	2,142	12,731
その他	99,333	72,365
流動負債合計	141,636	114,875
固定負債		
資産除去債務	5,112	5,216
繰延税金負債	3,387	5,008
固定負債合計	8,499	10,225
負債合計	150,135	125,101
純資産の部		
株主資本		
資本金	510,394	511,882
資本剰余金	653,826	653,334
利益剰余金	144,682	138,459
自己株式	△201,412	△194,148
株主資本合計	1,107,491	1,109,528
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	499	328
為替換算調整勘定	3,109	13,114
その他の包括利益累計額合計	3,608	13,443
純資産合計	1,111,099	1,122,971
負債純資産合計	1,261,234	1,248,072

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和2年1月1日 至 令和2年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和3年1月1日 至 令和3年9月30日)
売上高	692,423	560,142
売上原価	291,469	241,180
売上総利益	400,954	318,961
販売費及び一般管理費	334,955	307,138
営業利益	65,998	11,822
営業外収益		
受取利息	135	144
助成金収入	2,971	314
為替差益	-	2,753
その他	4	67
営業外収益合計	3,111	3,280
営業外費用		
為替差損	3,433	-
その他	-	0
営業外費用合計	3,433	0
経常利益	65,675	15,103
特別損失		
固定資産除却損	1,417	-
特別損失合計	1,417	-
税金等調整前四半期純利益	64,257	15,103
法人税等	23,658	21,326
四半期純利益又は四半期純損失(△)	40,599	△6,223
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	40,599	△6,223

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和2年1月1日 至 令和2年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和3年1月1日 至 令和3年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	40,599	△6,223
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	407	△170
為替換算調整勘定	△2,007	10,005
その他の包括利益合計	△1,599	9,835
四半期包括利益	39,000	3,612
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,000	3,612

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 令和2年1月1日 至 令和2年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 令和3年1月1日 至 令和3年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間 (自 令和3年1月1日 至 令和3年9月30日)
前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

連結子会社の解散決議 令和3年4月15日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社情報スペースを解散及び清算することを決議しました。なお、同社は、令和3年6月30日付で解散し、本第3四半期決算短信公表日現在、清算手続き中であります。
---

(重要な後発事象)

該当事項はありません。